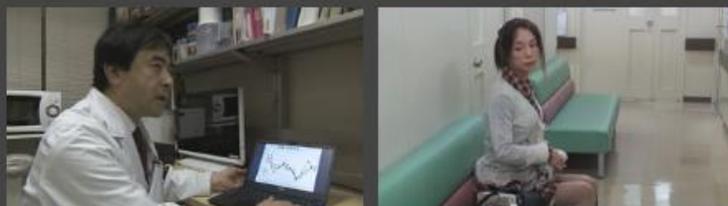


理想の性と現実のはざままで ～性同一性障害 就労の壁～

放送日時：2012年12月7日(金) 午後7:30～7:55

今回の現場は「岡山大学病院ジェンダークリニック」。性同一性障害の受診者を、産婦人科、精神科などが連携して治療にあたる全国有数の医療拠点です。訪れる人の多くは就労の問題を抱えています。ジェンダークリニックの受診者65人の71%が辞職を、24%が解雇を経験し、その半数以上は性同一性障害を理由に挙げていることがわかりました。厳しい経済情勢の中、安定した仕事につけない実態を明らかにし、就労困難な人をどう支えていくのかを考えます。



馬木也の目



今回は性同一性障害の人たちの就労の問題、とくにキャリアを築きにくいミドルエイジの問題を見てきました。もし、性同一性障害を理由にした解雇や辞職勧告があるとすれば、それ自体絶対に許されないことです。そうした理不尽、無理解を根本から改めることが先決です。私たちの社会が性同一性障害に悩む人たちを理解することが何より必要だと感じました。その上で、こうした人たちが悩みを打ち明けやすい環境を作るにはどうしたらいいのか、私たちには何ができるのか、自分自身でも考えていきたと思いました。